

< 言語聴覚学科 > 入学試験問題

小 論 文

(注意)

- 1 試験官の指示があるまで、問題用紙及び解答用紙に触れないでください。
- 2 問題は2頁～4頁に印刷されています。
- 3 解答用紙に氏名、受験番号を記入してください。
- 4 机の上に鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、時計（辞書・計算・通信機能のついていないものに限る）、受験票以外は置かないでください。
- 5 受験票は番号札の手前に置いてください。
- 6 常時マスクを着用してください。ただし、本人確認の際に、試験官の指示によりマスクを外していただくことがあります。
- 7 ハンカチ、ティッシュペーパーを使用する者は、静かに挙手をして、試験官の指示に従ってください。
- 8 試験中に気分が悪くなったり、トイレへ行きたくなった者は、静かに挙手をして、試験官の指示に従ってください。
- 9 試験問題に関する質問は一切受け付けません。
- 10 途中で退出する者は、解答用紙を机の上に置き、静かに挙手をして、試験官の指示に従って退出してください。ただし、試験開始後30分間及び試験終了前10分間の退出は認められません。
- 11 試験終了後、試験問題は持ち帰って結構です。

(問題は次のページから始まります)

【問題文】

課題文は、ある保育士が、子どもたちと関わった様子や気持ちを書いたものである。課題文をよく読み、内容をよく踏まえたうえであなたが感じたことや考えたことを 800 字以内にまとめなさい。その際、論旨がよくわかるように書くこと。また、小論文の内容にふさわしいタイトルを考え、所定の欄に記入しなさい。

【課題文】

この文章は著作権上の都合により公開できません。

(鯨岡峻「子どもの心を育てる 新保育論のために」より)